

おかなみ



OKANAMI
vol.73
2025/1

これからの医療・介護について

理事長 猪木 達

胃がん検診のすすめ 消化器内科部長 今井元

老健おかなみより 医師 村山卓

手作りデザートで入院生活のお楽しみに

これからの医療・介護について

理事長 猪木 達

2025年を迎え、これまで懸念されてきた医療・介護体制にとっての厳しい時代へと突入していきます。ここから2040年までの間、現役世代は減り続け、医療・介護現場は深刻な人材不足の時代に入ると言われています。厳しい時代の幕開けは、どなたにとっても他人事ではありません。そこでみなさんには次の三つのことについてお願いがあります。

1つ目は、「医療者の働き方」へのご理解です。医療者はこれからも厳しい現場に立ち続けていきます。昨年より医師の働き方改革が始まりましたが、現在も診療時間外に医師による病状説明は多く行われています。ご家族の都合を優先した結果であることが多いようです。また休日・夜間でも緊急性が低く、平日都合がつかなかったからという理由で受診される方は多くいます。時間外の診療に対し、なぜこの検査ができないのか、なぜ長時間待つのかなどと強く迫り、医療者側が説明に時間を費やすことも稀なことではありません。持続可能な体制の維持には、働き方の議論は不可欠ですが、患者様の行動によっては医療者の働き方に多大な影響を与えているのです。

2つ目は、「医療の役割分担」へのご理解です。質の高い医療を効率的に提供できるよう、病院と診療所は機能に応じた役割分担がされています。軽症の病気やけがの場合には身近な診療所にご相談いただくことが重要です。しかし「総合病院の方が安心だから」、「将来入院するときのために」といった理由で、軽症の患者様が総合病院に集中すると、地域医療は維持できなくなります。昨年実施した患者満足度調査では、外来待ち時間に対する満足度は低い結果でした。当

院の外来は人数制限を設けず、予約外や緊急の患者さんも幅広く診る体制をとっています。総合病院に集中し続ける患者様を今後も診ていくことで待ち時間に対する要望に応えることはますます困難となります。外来以外の他の業務への支障も来たしかねません。一人ひとりがかかりつけ医(診療所)を持ち、医療の役割分担へのご理解と行動をお願いしたいと思います。

3つ目は、「医療への積極的参加」です。現在、病院には、「医師の説明が〇〇について触れてくれなかった。」「看護師が〇〇について尋ねてくれなかった。」などの意見が寄せられます。細やかな説明や配慮を期待しての意見だと思います。しかし、これからも医療まかせ、病院まかせが果たして成り立っていくでしょうか。これからは、ご自身の医療に主体的に参加をお願いしたいと思います。意思や意見、疑問をしっかりと伝えていただき、医療者の説明に対しては、十分に納得できるまでお尋ねいただきたいと思います。遠慮は不要です。一方医療者側は、これからの人材体制のなかで多職種が情報共有し効率よくきめ細かいチーム医療を提供できるよう模索していきます。患者様も医療チームの一員と考え、より良い医療をいっしょに考えていくことが理想の姿だと思います。

患者様、地域の皆様にとって厳しいお願いばかりをしました。しかし、この地域の持続可能な医療・介護体制の維持のためには、当法人職員も一人ひとりが思いを新たに、一丸となって取り組んで参る所存です。2025年を境にこれからの医療・介護のための行動をみんなで進めていきましょう。

● 岡波総合病院の理念 ●

人々の健康と幸せのために、「人間としての愛」の精神をもって心からの医療と福祉を提供していきます。

● 岡波総合病院の基本方針 ●

1. 私達は、「至誠・注意・満足」の院是の基に、患者様と信頼を共有できるように心の通じた医療サービスを実践いたします。
1. 私達は、医療水準の日々向上をめざし、高度適正な医療を実践いたします。
1. 私達は、患者様に心温まる細心の看護と介護の提供を実践いたします。
1. 私達は、地域の医療福祉機関との連携を密接にとり、患者様すべてに公正な医療の提供とプライバシー保護を実践いたします。

● 患者様の権利 ●

1. 患者様は、だれでも良質な医療を公平に受けることができます。
1. 患者様は、病気・検査・治療などについて理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報をつけることができます。
1. 患者様は、十分な説明と情報提供を基に治療方法を自らの意思で選択することができます。また別の医師の意見を求めることもできます。
1. 患者様は、自分の診療記録の開示を所定の手続きを経て求めることができます。
1. 患者様は、個人の情報やプライバシーについて保護されます。
1. 患者様は、健全で良質な医療水準を確保するため医療サービスについて提言することができます。

胃がん検診のすすめ

消化器内科部長 今井 元

皆様こんにちは。岡波総合病院消化器内科の今井です。消化器内科が創設されたのは2021年6月で、そこから丸3年が経過しました。2021年は、延期となった東京五輪が史上初の無観客で開催されるなど、人と密にならない工夫が求められた年でした。医療業界でも、人と密にならない工夫がさまざまになされました。その一つとして、緊急性のない検査の中止・延期がありました。また、自覚症状のない検診についても、延期とする自治体が多く見られました。がん検診については、コロナ前の2019年と比較して、2020年は27.4%減少し、2021年はやや回復したものの、10.3%減となり、受診者数は大きく低下しました。その中でも、特に胃がん検診は13.2%減と、他のがん検診に比べて大きな減少が見られました(日本対がん協会調べ)。

世間的な検診離れは伊賀市でも同様で、コロナ前の2019年には胃がん検診受診率が6.0%であったのに対し、2020年は4.8%、2023年には4.2%と悪化傾向にあります。もともと伊賀市における胃がん検診受診率は、三重県平均の8.7%および全国平均の6.9%と比べて低い状況にあり、コロナ禍に関係なく、検診率の向上および質の向上は必須の課題であると考えます。胃がん検診の目的は、胃がんを早期発見し、生存率を向上させることです。

胃がん検診には主に、胃透視検査と上部内視鏡検査があります。胃透視検査は1983年に老人保健法の事業として開始され、歴史が長い検査方法です。一方、上部内視鏡検査は試験的に実施されていたものの、ガイドラインで推奨されるようになったのは2016年と比較的最近のことです。胃透視検査と上部内視鏡検査には、それぞれ一長一短があります

が、筆者は基本的に上部内視鏡検査を推奨しています。その大きな理由の一つとして、ヘリコバクター・ピロリ感染(HP)の有無を把握しやすい点が挙げられます。HP感染は慢性胃炎や胃潰瘍、胃がんのリスク要因であり、胃がん患者の実に95%がHP陽性という結果があります。このことから、胃がんのリスクであるHP感染をより若い年齢で確認しておくことは、胃がん撲滅に向けて非常に重要です。また、早期胃がんの病変についても、上部内視鏡検査に分があると考えています。現在では、早期胃がんの治療として外科的治療ではなく、消化器内科で内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)が行われる時代になっています。当院でも積極的にESDを行っており、年々その件数は増加しています。上部内視鏡検査のメリットを強調しましたが、胃透視検査が不十分であるわけではありません。胃がんを発見するという観点からは、十分に効果的な検査です。いずれの検査も検診のメリットは十分にありますので、まずは受診いただき、早期発見・早期治療につなげていただくことを強くお勧めします。当院では、胃透視検査および上部内視鏡検査のいずれも実施しておりますので、詳しくは健康管理センター(0595-24-2555)にお問い合わせください。

最後に、消化器内科は現在4名の常勤医で、日々の病棟業務や内視鏡業務に取り組んでおります。おかげさまで、この3年で内視鏡検査の件数も過去最高となり、これはひとえに住民の皆様の信頼と期待、ならびに開業医の先生方のご指導・ご鞭撻のおかげと考えております。これからも、これらの期待に応えるべく、日々努力してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

■ 入職



中貴史 医師
消化器内科

令和6年10月1日付

令和6年10月から岡波総合病院で働かせていただいています、中といひます。

まだまだ未熟ですが、地域に寄り添った医療を提供できるように尽力いたします。



浅田宜孝 医師
循環器内科

令和6年10月1日付

この度岡波総合病院に赴任しました浅田宜孝と申します。専門領域は循環器領域ですが、専門領域にこだわることなく、内科医として患者

さんの不安や困りごとに寄り添える医療を提供していきたいと考えています。

まだまだ力不足な部分もあるかと思いますが、少しでも皆様の力になれるよう頑張っている所存ですのでよろしく願い申し上げます。

■ 入職

村上敏春 医師
脳神経外科

令和7年1月1日付

■ 退職

中島司 医師
脳神経外科

令和6年12月31日付



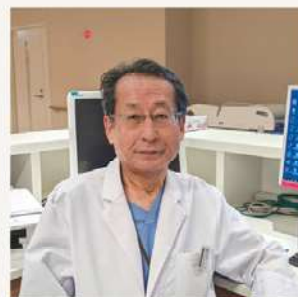
老健おかなみより

医師 村山卓

50年の病院勤務医としての生活にピリオドを打ち昨年2月からは介護老人保健施設おかなみで非常勤医として最後の医者生活を送っています。

平成元年7月に市民病院に着任しその後、平成24年7月からは岡波総合病院に移り今や人生の約半分は伊賀での生活となりました。その間、多くの人に支えられ、励まされてこれまで何とか無事に医者生活を送れた事に感謝する次第です。

現在、老健おかなみでは常勤医の中川先生と私の二人で利用者の介護、治療に当たっています。老健ではほとんどの利用者が幾らかの認知症を有する高齢者であり残された余命を快適に過ごすための介護、医療が主たる目的となります。ただ高齢者であるが故に病気を持っている方も多く病気に対する治療は苦痛からの解放、QOL(人生の質)の向上のためにも重要な事です。しかし老健特有の医療経済的な問題より種々のツールを駆使した十分な検査、最先端の治療を行う事は困難であり少ない情報で病院受診の適否を決める必要があります。また社会的、医学的な問題より侵襲的な検査、高度な治療施行の可否についてもその判断に悩むことも少なくありません。しかし昨今の医療情勢を考えると



病院でも医療経済を考慮し、個々の人格に配慮した医療が要求されその意味においても老健での医療はその縮図と言えるかもしれません。

これからはますます高齢化社会となり伊賀でも同様であり2040年には高齢化率は約40%になると推定されています。また核家族化の進行と共に今後、老健の重要性、果たす役割は大きくなると思われ自分には少し荷が重いのではと感じる毎日です。



おかなみ出前講座

お申し込み、お問い合わせは、岡波総合病院
地域医療連携室(直通電話0595-21-3154)まで。

令和6年9月5日 伊賀市社会福祉協議会
ケアプランセンター様

テーマ 在宅ケアにおける感染症対策
講師 感染管理者 藤澤春美



令和6年9月9日 川西いきいきサロン様

テーマ ゴックンからはじめる肺炎予防
講師 言語聴覚士 田島敦子
管理栄養士 大上晴香



令和6年9月10日 ケアハウス
グリーントピア名張様

テーマ 自宅でできる腰・膝の体操
講師 理学療法士 松石康平・山本真綾



令和6年9月25日 月ヶ瀬福祉センター様

テーマ 自宅でできる膝・腰の体操
講師 理学療法士 岡田佳大・甲斐日向多



令和6年10月3日 古山市民センター
なでしこ会様

テーマ 少しでも若々しく脳の機能を保つために
講師 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
東雲洋美



令和6年10月17日 いきいきサロン炊村様

テーマ 心臓と脳の病気～予防法を知ろう～
講師 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
東雲洋美
慢性心不全看護認定看護師 林愛希仁



令和6年10月18日 山出いきいきサロン
あじさい様

テーマ 寝たきりにならないための基礎知識
講師 作業療法士 山内雅之



令和6年10月22日 福寿草と糸ぐるまの会様

テーマ 少しでも若々しく脳の機能を保つために
講師 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
東雲洋美



連携登録医紹介

連携登録医のご紹介

岡波総合病院では、地域の先生方との連携を密にし、効率的な医療の提供を目的とした「連携登録医」制度を実施しています。比較的病状が安定された患者様につきましては、医療の役割分担を目的に地域の「連携登録医」（かかりつけ医）への紹介を推進しています。



医療法人 さかい循環器内科クリニック

当クリニックでは朝8時から診療開始しています。ご予約も可能で待ち時間を出来る限り短縮しています（初診の方も電話予約可能です）。また、ヘモグロビンA1c、コレステロール値等当日の採血結果も院内で迅速に行っています。検査項目についてはホームページを参照下さい。専門的な検査や入院が必要だと判断いたしましたら、連携病院の三重大学病院、岡波総合病院、名張市立病院等に迅速にご紹介いたします。内科医として幅広い疾患を診つ、循環器専門医として専門的医療も提供できる“アクセスの良い専門医”を目指しております。

医師名 坂井正孝
住所 〒518-0773 名張市希央台3番町6-1
TEL 0595-62-0500
FAX 0595-62-1351

診療科目 循環器内科・一般内科
診療時間 8:00~12:00 16:00~18:30
休診日 水曜、土曜の午後・日曜・祝日



ひらい小児科クリニック

昭和63年の開業で、専門の小児科を中心に外来治療を行っています。詳しい検査はできませんが、診察の基本を守って、見落としなく、二次病院紹介時期を誤らぬよう心がけています。時代とともに疾病構成も大きく変化し、入院を要する感染性疾患は激減しました。外来診療もカウンセリングの要素が増し、相談事も多く、専門病院への紹介も増えています。また、予防接種業務の増加があり、コロナワクチン以降、成人の予防接種希望の方も多くなりました。時代の変化に対応した第一線の外来診療を長く続けたいと考えています。

外来短歌3首
・ベビーカー止めて外来案内を見ている親子の初めての街
・知っている、診てもらったと通りゆく、一年生の地域学習
・ブラインド調節し外来の表情作る朝、少し明るく

医師名 平井誠一
住所 〒518-0809 伊賀市西明寺2785-8
TEL 0595-21-3101
FAX 0595-21-2171

診療科目 小児科、内科、皮膚科、アレルギー科
診療時間 月・火・水・木・金・土 9:00~12:00、月・水・金 15:00~18:00
休診日 日曜・祝日



医療法人 紀平医院

当院は名阪国道の上柘植インターすぐであり、岡波総合病院へは車でおおよそ20分の距離です。総合内科専門医の医師が、診療・検査・治療を行っています。また、地域の特性から内科疾患以外の症状の診断及び初期治療もします。来院時のプライマリーケアを行い、その結果高度な検査や治療が必要と判断した時には、総合病院との積極的な医療連携を心がけています。患者さんご家族の方々のわかりやすい説明と、こころのこもった地域医療を理念に、皆さまのお役にたてる診療所であることをスタッフ一同目指しています。

医師名 紀平久和
住所 〒519-1402 伊賀市柘植町2033-2
TEL 0595-45-5470
FAX 0595-45-5475

診療科目 総合内科
診療時間 9:00~12:00、訪問診療etc 13:30~16:30、午後 17:00~19:00
休診日 木曜、土曜の午後・日曜・祝日



矢倉医院

当院では地域に密着し患者様に寄り添い思いやりそして丁寧に心がかけるながら診察させて頂いています。内科・外科・肛門外科・皮フ科と幅広く診察を行っています。これからも地域医療に貢献できる様に努めさせて頂きます。スタッフ一同よろしくお願いします。

医師名 矢倉政則
住所 〒518-0611 名張市新田2202-2
TEL 0595-65-2251
FAX 0595-41-2511

診療科目 消化器内科・外科・内科・肛門外科・皮フ科
診療時間 9:00~12:00、16:00~19:00
休診日 火・木・土曜の午後・日曜・祝日



絵本のご寄贈のお知らせ



このたび、絵本作家のMOMOさんより、心温まる絵本3冊を当院に寄贈していただきました。絵本は病院内に設置し、患者さんが自由に手に取ることができます。

絵本「トビー」は、奇跡のような実話から生まれた、かわいいクマくと人間がおりなすハートフルな物語です。子どもたちに誰もが特別で、それぞれの才能や性格が大切な存在だと感じられる内容となっています。多くの患者さんやご家族に楽しんでいただけることと思います。



【作者プロフィール】

作者のMOMOさん【山本美里様】三重県名張市生まれ。子供のころから、思いついたことを書くのが好きで、母が「いつか、あなたの本が書店に並んでいるところを見てみたいな」と言っていたこと、父（イラスト担当：KOZOさん【鈴木孝三様】）が「本当はイラストレーターになりたかった」と言っていたことを思い出し、親子共作となる作品を、絵本として初出版しよう！と決められました。

2月バレンタイン



母の日



6月あじさい



ビールそっくりのゼリーも実現！

父の日



七夕



紫キャベツから色をとりキレイなブルーが出せました

手作りデザートで入院生活のお楽しみに

栄養科では、昨年9月より季節や行事に合わせたこだわりの手作りデザートの提供をはじめています。入院患者さんに季節を感じてもらいながら、ほっこり気分を味わっていただきたい一心でつくっています。デザインや色合い、味に至るまでみんなで知恵を出し合い、すべての患者さんが目で見て味で楽しめることがモットーです。

当日は夕食デザートのため朝8時から作業開始です

糖尿病の方など栄養制限がある患者さんも口にでき、食事が十分にとりにくくなっている病状の方にも提供しています

12月クリスマス



栄養科職員の手書きカードを付けています

10月ハロウィン



天神祭



9月月見



8月夏祭り 金魚すくい



8月夏祭り



敬老の日 クリームソーダ



病院で働く看護補助者は、チーム医療の一員としてとても大きな存在です。
タイより来日6年、4年前より活躍する手島パイリンさんにインタビューしました。



Q どんなきっかけでこのお仕事を知りましたか。

A 私はもともとタイで日本語の勉強をした経験から、日系企業で通訳のサポートをする仕事をしていました。その経験を生かしたいと思っていたら、このお仕事にめぐり会いました。

Q 現在のお仕事内容は？

A 患者さんの入浴介助や入院生活のお手伝いをしています。また私はタイ語と英語が話せるので、院内で急な通訳が必要なときに、私が通訳をすることもあります。

Q 日本語が難しく感じたり、コミュニケーションで苦労することはないですか？

A 時々わからない言葉がありますが、他の職員さんに聞いたり、代わりに患者さんの話を聞いてもらったりするので安心しています。

Q やりがいを感じることはどんなことですか？

A 患者さんから「ありがとう」などの言葉をもらったときです。

Q 日頃、お仕事で気をつけていることは何ですか？

A 患者さんが安全に過ごすために危険がないか見守ることや、思いやりの気持ちをもって接することです。

Q いつもいきいきとお仕事されていますね。

A わからないことがあったら、みんなやさしく教えてくれます。また年1回タイに帰れるように、みなさんと協力してくれて、休みをもらっています。みんなやさしく、私のためにいろいろ教えてくれるので安心して働いています。



忍者トレイルランへ 医療で応援



2024年11月2日、2024忍者トレイルランニングレースが開催されました。今年も当法人が本大会への協賛と医療ブースの出展、エイドステーション(救護)を担当。500名以上のランナーに補水食活動を行い、負傷者の救護にあたりました。



老健おかなみ施設運動会を 開催



利用者による選手宣誓に始まり、紅白に分かれ玉入れ、ボーロ食い競争に参加された方、応援する方全ての利用者が笑顔で参加していただきました。今回は、【職員運動会】も同時に開催。子供の頃に戻ったように職員も車椅子リレー、鉛玉探し等の種目毎に笑顔で競争を楽しみました。

